

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-510637(P2005-510637A)

【公表日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2003-547166(P2003-547166)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 6 C 3/06

B 3 2 B 5/26

B 3 2 B 25/10

D 0 4 H 1/54

D 0 4 H 1/70

【F I】

D 0 6 C 3/06 Z

B 3 2 B 5/26

B 3 2 B 25/10

D 0 4 H 1/54 Q

D 0 4 H 1/70 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中央領域及び 2 つの縁領域を持つ不織材料を準備し、

第一平均表面速度を持つ第一ニップ、及び第一平均表面速度より速い第二平均表面速度を持つ第二ニップに不織ウェブを通し、

前記第一及び第二ニップの間で不織ウェブにネック付与し、

不織布の 2 つの縁領域に対比して中央領域において選択的にネック付与を増加させ、又は、前記 2 つの縁領域を選択的に冷却することにより中央領域に対比して 2 つの縁領域でネック付与を減少させる、

段階を含むことを特徴とする、改良された横方向均一性を持つネック付与した不織ウェブの製造方法。

【請求項 2】

中央領域でネック付与を選択的に増加させる前記段階は、2 つの縁領域に対比して中央領域のネック付与抵抗を減少させることを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

中央領域のネック付与抵抗を減少させる前記段階は、中央領域を選択的に加熱する段階を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

中央領域を選択的に加熱する前記段階は、中央領域にホットエアーナイフを施す段階を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

中央領域でネック付与を選択的に増加させる前記段階は、2 つの縁領域に対比して中央

領域でネック付与力を増加させる段階を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

中央領域でネック付与力を増加させる前記段階は、2つの縁領域での移動距離に対して、第一と第二ニップの間の中央領域での移動距離を選択的に増加させる段階を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

中央領域による移動距離を選択的に増加させる前記段階は、形状付けされた外部表面を持つ案内ローラーに不織布を通す段階を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記不織布を、それぞれが形状付けされた外部表面を持つ2つの案内ローラーに通すことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

更に第一及び第二ニップの間における前記不織布全体を加熱する段階を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

前記第二平均表面速度は、第一平均表面速度の 1.05 - 1.7 倍であることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記第二平均表面速度は、第一平均表面速度の 1.1 - 1.5 倍であることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記第二平均表面速度は、第一平均表面速度の 1.2 - 1.4 倍であることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

予めネック付与された初期長さの少なくとも 1.2 倍の長さを持つ、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の方法により製造したネック付与した不織ウェブであって、

2つの縁領域が平均坪量を持ち、

中央領域が2つの縁領域の平均坪量の $\pm 7\%$ 以内の平均坪量を持つ、ことを特徴とする、前記不織ウェブ。

【請求項 14】

中央領域の前記平均坪量が、2つの縁領域の平均坪量の $\pm 5\%$ 以内であることを特徴とする請求項 13 に記載のネック付与した不織ウェブ。

【請求項 15】

中央領域の前記平均坪量が、2つの縁領域の平均坪量の $\pm 3\%$ 以内であることを特徴とする請求項 13 に記載のネック付与した不織ウェブ。

【請求項 16】

ネック付与したスパンボンドウェブを含むことを特徴とする請求項 13 に記載のネック付与した不織ウェブ。

【請求項 17】

ネック付与したメルトブローンウェブを含むことを特徴とする請求項 13 に記載のネック付与した不織ウェブ。

【請求項 18】

ネック付与したスパンボンド - メルトブローン - スパンボンドウェブ積層体を含むことを特徴とする請求項 13 に記載のネック付与した不織ウェブ。

【請求項 19】

請求項 13 に記載のネック付与した不織ウェブ及びエラストマー性又は伸長可能なフィルムを含むことを特徴とするネック付与状態で接着した積層体。

【請求項 20】

請求項 13 に記載の2つのネック付与した不織ウェブ及びエラストマー性又は伸長可能なフィルムを含むことを特徴とするネック付与状態で接着した積層体。

【請求項 2 1】

前記ネック付与した不織ウェブをエラストマー性又は伸長可能なフィルムと組み合わせる段階を更に含むことを特徴とする請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記ネック付与した不織ウェブを前記第二ニップで前記フィルムと組み合わせることを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

中央領域と 2 つの縁領域を持つ第二不織ウェブを準備し、
2 つのニップの間で第二不織ウェブにネック付与し、第二不織ウェブの中央領域で選択的にネック付与を異ならせてネック付与した第二不織ウェブを形成し、更に
ネック付与した第二不織ウェブを前記フィルムに組み合わせる、
段階を更に含むことを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記 2 つのニップは第三ニップ及び前記第二ニップを含み、前記ネック付与した両方の不織ウェブは、前記第二ニップで前記フィルムと組み合わせることを特徴とする請求項 2 3 に記載の方法。